# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

06-004166

(43) Date of publication of application: 14.01.1994

(51)Int.CI.

G06F 1/00

GO6F 9/46

(21)Application number : 04-165654

(71)Applicant: OKAYAMA NIPPON DENKI

SOFTWARE KK

**NEC SOFTWARE LTD** 

(22)Date of filing:

24.06.1992

(72)Inventor: ISHIZAKI ARINORI

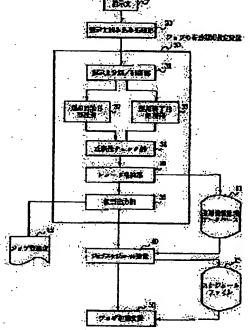
**OKA MITSUHIRO** 

# (54) EXPIRATION DATE SETTING DEVICE FOR JOB

## (57)Abstract:

PURPOSE: To set the expiration date of a job by supplying the information of an operation start day and an operation completion day to a job to be automatically executed.

CONSTITUTION: This device is provided with an instruction text disassembling/ control part 31 which disassembles the information of the operation start day (day/month/year) and the operation completion day when they are supplied to the job to be automatically executed and allocates them, an operation start day processing part 32 which performs processing with respect to the operation start day and an operation completion day processing part 33 which performs processing with respect to the operation completion day. Furthermore, it is provided with a validity check part 34 which compares a supplied operation start day with a supplied operation completion day and checks validity, a record storage part 35 which stores the values of the operation start day and the operation completion day in



a data base, and a document output part 36 which outputs a document when a document output instruction is issued.

## **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

# (19)日本国特許庁 (JP)

# (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

# 特開平6-4166

(43)公開日 平成6年(1994)1月14日

(51)lnt.Cl.<sup>5</sup>

識別配号 · 庁内整理番号

FΙ

技術表示箇所

G 0 6 F 1/00

3 7 0 A 7165-5B

9/46

3 4 0 A 8120-5B

審査請求 未請求 請求項の数1(全 5 頁)

(21)出顯番号

(22)出願日

特願平4-165654

平成 4年(1992) 6月24日

(71)出願人 390002071

岡山日本電気ソフトウェア株式会社

岡山市大内田677

(71)出願人 000232092

日本電気ソフトウェア株式会社

東京都港区高輪2丁目17番11号

(72)発明者 石崎 有紀

岡山県岡山市磨屋町1番6号岡山日本電気

ソフトウェア株式会社内

(72)発明者 岡 充弘

東京都港区高輪二丁目17番11号日本電気ソ

フトウェア株式会社内

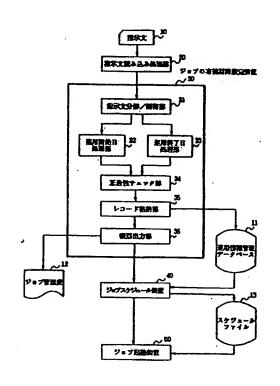
(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54)【発明の名称】 ジョブの有効期間設定装置

# (57)【要約】

【目的】自動実行されるジョブに対して運用開始日とともに運用終了日の情報を与えることにより、ジョブの有効期間を設定する。

【構成】自動実行されるジョブに対して運用開始日(年月日)とともに運用終了日の情報を与えたとき、その情報を分解し処理の振り分けを行う指示文分解/制御部31と、運用開始日に関する処理を行う運用開始日処理部32と、運用終了日に関する処理を行う運用終了日処理部33と、与えられた運用開始日と運用終了日の値を比較し正当性をチェックする正当性チェック部34と、運用開始日と運用終了日の値をデータベース上に格納するレコード格納部35と、帳票出力の指示があれば帳票の出力を行う帳票出力部36とを有して構成される。



### 【特許請求の範囲】

【請求項 】】 自動実行されるジョブの運用開始日とと もに運用終了日を指示し処理の振り分けを行う指示文解 析/制御部と、運用開始日を設定する運用開始日処理部 と、運用終了日を設定する運用終了日処理部と、前記運 用開始日と運用終了日とを照らし合わせてその正当性を チェックする正当性チェック部と、前記運用開始日およ び運用終了日の情報を運用情報管理データベースのレコ ード上に格納するレコード格納部と、前記情報を帳票と して出力する帳票出力部とを有することを特徴とするジ 10 ョブの有効期間設定装置。

### 【発明の詳細な説明】

[0001]

【産菜上の利用分野】本発明は自動実行されるジョブの 運用開始日とともに運用終了日の情報をデータベース上 に格納することにより有効期間を設定するジョブの有効 期間設定装置に関する。

[0002]

【従来の技術】従来のジョブの運用においては一般に運 していた。したがって自動実行されるジョブに対し、い つ(何年何月何日)から起動の対象とするかの指示を与 えることはできたが、そのジョブをいつまで起動の対象 とするかの指示を与えることはできなかった。

【0003】とのため、一定期間のジョブの運用後、あ る時点で起動の対象から外したいジョブがある場合には 該当する年月日にジョブを削除する作業を行わなくては ならなかった。この作業を忘れてしまった場合、不要な 同ショブがいつまでも誤って起動されてしまうことにな る.

【0004】また、ある年度の特定日のみ実行したジョ ブがあるような場合にも、ジョブが実行された後、ジョ ブを削除する作業を行わなくてはならなかった。この作 業を忘れてしまった場合、不要な同ジョブが翌年度も誤 って起助されてしまうことになる。

[0005]

【発明が解決しようとする課題】上記のように従来の方 法では、自動実行されるジョブに対して、 いつ (何年何 月何日)から起動の対象とするかを指定することはでき たが、そのジョブをいつまで起動の対象とするかを指定 40 することはできなかった。

【0006】このため、一定期間のジョブの運用後、あ る時点で起動の対象から外したいジョブがある場合や、 特定のある 1日のみ実行したいジョブがある場合には、 実行後のジョブを削除する作業を行わなくてはならず、 この削除ミスにより業務誤動作が発生することが多かっ た.

[0007]

【課題を解決するための手段】本発明のジョブの有効期 間設定装置は、自動実行されるジョブの運用開始日とと 50 数字で指示を与える。運用開始日または運用終了日を省

もに運用終了日を指示し処理の振り分けを行う指示文解 析/制御部と、運用開始日を設定する運用開始日処理部 と、運用終了日を設定する運用終了日処理部と、前記運 用開始日と運用終了日とを照らし合わせてその正当性を チェックする正当性チェック部と、前記運用開始日およ び運用終了日の情報を運用情報管理データベースのレコ ード上に格納するレコード格納部と、前記情報を帳票と して出力する報票出力部とを有する。

[0008]

【実施例】次に、本発明について図面を参照して説明す。

【0009】図1は本発明の一実施例を示すブロック図 である。同図において本発明によるジョブの有効期間設 定装置30は、入力された指示文10を分解し処理の振 り分けを行う指示文分解/制御部31と,分解された指 示文を解析し運用開始日の処理を行う運用開始日処理部 32と、分解された指示文を解析し運用終了日の処理を 行う運用終了日処理部33と、与えられた運用開始日と 運用終了日とを照らし合わせてその正当性をチェックす 用開始日を設定すことによってジョブの自動運用を実行 20 る正当性チェック部34と、与えられた運用開始日およ び運用終了日の情報を運用情報管理データベース11の レコード上に格納するレコード格納部35と、帳票の出 力指示があればジョブ管理表12を出力する帳票出力部 36とを有して構成される。

> 【0010】なお、指示文読み込み処理部20は上記の 指示文10を読み込む。また、ジョブスケジュール装置 40は運用情報管理データベース 11を参照し、ジョブ のスケジューリングを行い、スケジュール結果をスケジ ュールファイル13に出力する。さらに、ジョブ起助装 30 置5 0はスケジュールファイル 1 3を参照し、ジョブの 起動を行う。

【0011】上記の有効期間設定装置30において、指 示文分解/制御部31は指示文の内容を解析して運用開 始日の指示と運用終了日の指示とを識別し、それぞれの 処理への振り分けを行う。そして運用開始日処理部32 は運用開始日を設定したあと運用終了日処理部へ処理を 引き継ぐ。続いて運用終了日処理部33は運用終了日を 設定しジョブの有効期間設定を行う。

【0012】正当性チェック部34は与えられた運用開 始日と運用終了日について日付の大小関係を比較し、論 理的な誤りがないかどうかをチェックする。 また、レコ ード格納部35は上記のチェック後の情報をデータベー ス上のレコード項目に格納する。 さらに、 帳票出力部8 6は運用開始日とともに運用終了日の日付を出力する。 【0013】図2は上記のジョブの有効期間設定装置3 0の動作を示す流れ図である。

[0014]まず、入力された指示文を読み込む(10 0)。このとき指示文には、プロダクト日/運用開始 日、運用終了日/という形式を用いて、それぞれ6桁の 略した場合は、プロダクト/、運用終了日/、プロダク ト日/運用開始日/のように指示を与える。

【0015】次に、指示文の分解を行い(101)、定 **義形式に誤りがないかどうか判定し(102)、誤りが** あればエラー処理する(109)。なお、ステップ10 1 においてはどちらかの指示が省略された場合には、既 定値処理の制御も行う。

【0016】続いてパラメータ名 (プロダクト日) が正 しいかどうかを判定し(103)、与えられた運用開始 的には、6桁の数字 (yymmdd) かつ、それが年

(00≤yy≤99)月(01≤mm≤12)日(01 ≦dd≦3l))にあてはまる数値であるかどうかの判 定を行う。誤りがあればエラー処理する(109)。

【0017】さらに与えられた運用終了日の値に誤りが ないかどうか判定する(105.106), 6桁の数字 (yymmdd)かつ、それが年  $(00 \le yy \le 99)$ 月(01≤mm≤12)日(01≤dd≤31)) にあ てはまる数値であるかどうかの判定を行う。誤りがあれ ばエラー処理する(109)。

【0018】次に、運用開始日と運用終了日の大小比較 を行い、運用開始日より運用終了日の方が早い等の誤り がないかどうか判定を行う(107、108)。誤りが あればエラー処理する(109)。 続いて運用開始日と 運用終了日の値を運用情報管理データベース 1 1 上に格 納する(110)。

【0019】次に、帳票出力の指示があるかどうかの判 定を行い、指示があるときジョブ管理表 1 2 を出力する (112, 113)。なお、帳票出力の指示がないとき には、ジョブスケジュール装置40を起動させることが できる.

【0020】上記において、エラー処理(109)はい ずれかの処理に誤りがあった場合にエラーメッセージを 出力し、再度指示文を入力し直すととを要求する。

【0021】以上説明したように、本発明のジョブの有 効期間設定装置は運用開始日とともに運用終了日の指示 を与えたとき、そのジョブに運用上の有効期間を設定す ることができる。したがって一定期間のみ運用したいジ ョブの扱いを容易にし、ジョブの削除ミスによる業務誤 動作を防ぐととができる。

【0022】とのとき、新規にパラメータを追加するの ではなく、運用開始日の指示を与えるパラメータに運用 終了日の指示を追加できるので、従来通りの運用方法に も影響を与えることなく、ジョブの有効期間を設定する

ことができる。この場合、運用開始日および運用終了日 の指示を同時に与えることができるので、日付の比較が 容易であり、定義ミスは少ない。

【0023】60、従来定義済みの運用開始日を変更し て新たに有効期間を設定していた場合には、プロダクト 日変更/運用開始日、運用終了日/とすることにより、 新たな有効期間を設定することができる。

【0024】もし、新たな運用終了日を設ける必要はな くこれまで通りの運用を続けたい場合には、特に指示を 日の値に誤りがないかどうか判定する(104)。具体 10 与える必要はなく、これまで通りを運用開始日が有効と なる。ジョブは無期限とみなされ、これまで通りの運用 を続けることができる。

> 【0025】さらに、既に定義した運用開始日および運 用終了日を取り消したい場合には、プロダクト日変更/ /とすれば、両方の日付の指示を取消すことができる。 このとき、運用開始日には定義の変更日付、運用終了日 は無期限という既定値がとられる。

【0026】ひとつのパラメータに運用開始日と運用終 了日を同時にもつことは、上記のように定義上,処理上 20 便利であるとともに、帳票出力上も運用開始日とともに 運用終了日を同時に隣り合わせて出力するようにすれ は、ショブの有効期間を意識しやすく、運用上も便利で ある.

### [0027]

【発明の効果】以上説明したように、本発明のジョブの 有効期間設定装置は、自動実行されるジョブに対して運 用開始日とともに運用終了日の指示を与え、そのジョブ に運用上の有効期間を設定することができる。したがっ て一定期間のみ運用したいジョブの扱いを容易にし、ジ ョブの削除ミスによる誤動作を防ぐことができる。

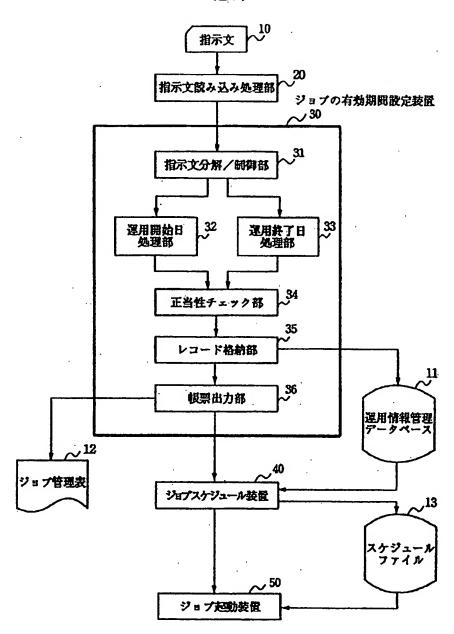
### 【図面の簡単な説明】

- 【図1】本発明の一実施例を示すプロック図。
- 【図2】処理の流れを示すフローチャート。 【符号の説明】
- 10 指示文

40

- 11 運用情報管理データベース
- 12 ジョブ管理表
- 30 ジョブの有効期間設定装置
- 3 1 指示文分解/制御部
- 32 運用開始日処理部
- 33 運用終了日処理部
- 3.4 正当性チェック部 . 35 レコード格納部
- 36 帳票出力部





[図2]

